2025年度　高等教育コンソーシアム信州　大学間連携事業

インクルーシブデザイン講座

その「不便」が、新しいアイデアの種になる。

当事者体験を通じて、社会にある「バリア」を見つけ出し、**誰もが心地よい空間やサービス**を企画しませんか？

対象者：

県内の大学生

無料・先着20名

（文理不問・未経験歓迎）

インクルーシブデザインワークショップは、高齢者や障がいのある方、子ども、外国人など、多様な背景をもつ人々の声に耳を傾けながら、誰もが使いやすい製品やサービス、場のあり方を共に考える実践型プログラムです。「特別な人のため」ではなく、「はじめから一緒につくる」ことが特徴です。本ワークショップでは、当事者へのヒアリングやフィールドワーク、アイデア創出、試作・発表までを体験します。デザインや福祉の知識は問いません。多様な視点に触れ、社会課題を自分ごととして捉えたい方、新しい発想力や対話力を高めたい方の参加をお待ちしています。

体験する

車いす・視覚障がい体験を通じて、街や建物に潜む「物理的・心理的バリア」を自らの感覚で発見します。

対話する

障がい当事者（リードユーザー）との対話を通じて、表面的な不便さの奥にある本質的な課題を探ります。

提案する

多様な視点を取り入れた商品やサービスのアイデアをチームで練り上げ、具体的な企画として提案します。

2026.3.4

13:00 -17:00

会場

佐久大学

長野県佐久市岩村田2384

申込フォームはこちら

https://for ms.gle/PmfCs68edDhrqDTw9

問い合わせ：高等教育コンソーシアム信州（office@c-snet.jp）　企画・運営：一般社団法人　インクルーシブスタジオ

当日のタイムスケジュール

13:00　オリエンテーション・基礎講義
ダイバーシティ、障がい、インクルーシブデザインの基礎概念を学びます。

13:20　当事者体験・バリア探索
車いすや視野狭窄ゴーグルを用い、実際の「不便」を体感します。

14:20　観察と対話（インサイトの発見）
当事者との対話から課題の本質を掘り下げます。

15:30　グループワーク：商品・サービスの考案
福祉施設等で活用できる具体的なサービスをチームで企画します。

16:40　プレゼンテーション・講評
考案したアイデアを発表し、講師よりフィードバックを受けます。

共創の場をつくる

異なる背景を持つ学生同士、そして障がい当事者との対話を通じて
、これまでの常識にとらわれない新しい価値観を創造します。

- ✓ 「自分事」として社会課題を捉える視点
- ✓ 多様な人々が共生する社会への具体的な提案力
- ✓ 実践的なデザイン思考の習得

学び・体験 (60分)

多様性・障がい・デザインを知る

- ✓ 視野狭窄などの視覚障がい体験
- ✓ 車いすによる下肢障がい疑似体験
- ✓ 体験を通じた「気づき」の共有とチーム対話
- ✓ 大学内におけるバリア（障壁）の探索

実践：観察と対話 (60分)

インクルーシブデザインの実践

- ✓ 当事者（リードユーザー）との対話（例：視覚障がい、下肢障がいの方）
- ✓ 観察と対話からの気づきを統合
- ✓ 表面的な困りごとではなく、本質的な「インサイト」を発見する

アイデア創出 (50分)

テーマ：「福祉施設における商品・サービス」

- ✓ 発見したインサイトを元に方向性を検討
- ✓ 具体的な商品・サービスのアイデア出し
- ✓ 提案内容のブラッシュアップとまとめ

提案・総括 (50分)

成果発表とフィードバック

- ✓ チームごとの商品・サービス案の提案
- ✓ 評価視点：当事者以外にも汎用性のあるものになっているか？
- ✓ 有識者による講評と全体の総括

主催
高等教育コンソーシアム信州事務局（信州大学学務部学務課教務グループ）
TEL:0263-37-2194　E-Mail:office(at)c-snet.jp

HP: https://www.c-snet.jp/